

第3回
「おおた生涯学習推進プラン」推進会議
資料

令和6年1月19日（金）

議題1 第2回「おおた生涯学習推進プラン」推進会議 意見交換まとめ①

1 開催概要

- 日時 令和5年10月27日（金）14:00～16:00
- 会場 池上文化センター

2 学び始めたくなる場とは

イメージ

学びのきっかけ

つながり・仲間づくり

新たな出会いがある場

機能

情報発信

講座

相談・コーディネート

空間・雰囲気

明るい・楽しい

安心感

身近・立ち寄りやすい

委員からの主なご意見

- ・ 雑談など何らかのきっかけで、芋づる式に学びが連動していくことがある
- ・ 同じような目的を持っている人がいて、1人で行っても受け入れてもらえる場だと学びたいと思う
- ・ 普段接することがないような話題や活動、接点がなかった人と出会えるところに学びの楽しさがある
- ・ 普段の生活と関係ない別のつながりに放り込まれ、刺激を受けることができる
- ・ 情報がシャワーのように降ってくる場だと学びに興味を湧くかもしれない
- ・ ライフステージや年齢に応じた身近なテーマの講座があると参加したいと思う
- ・ 入門講座は参加しやすい
- ・ 安心して身近な人たちと話し合える場があると学びやすい
- ・ 1人でも行ける、受け入れてもらえる場
- ・ 信頼関係がある
- ・ 子どもが来ることができたり、ある程度うるさくしても大丈夫な場、明るく楽しい場が必要
- ・ 通りすがりにあるような身近な場所

3 学びとつながりの循環が生まれる場とは

学び続ける秘訣

楽しい・余韻がある
頻度、参加の度合いに選択肢がある

信頼関係・フラットな関係
認めてもらえる
世代交代

次のステップに移行する支援

副次的な学び

雑談、無駄な時間
余計なことを話していて良い場

目的と違うところで生まれる学び

委員からの主なご意見

- 学びの中で仲間と出会い、団体を作り、関心やテーマが広がった。活動していくうちにネットワークも広がり、地域に関心が向くようになった。まさに、学びとつながりの好事例といえる
- なぜ学びから地域に関心を向けることができるか。お金、人間関係、人との繋がりなど、学ぶこと以外にその人にとって何か得られるものがあると、学び、活動につながっていくのではないか
- 連続講座など、長い時間かけて取り組むものについては、その密度や頻度で通えない人もいる。単発での参加や、オンラインでの参加が可能になるなど、開かれていることも必要
- 学びの場で年齢などを越えたフラットな関係、信頼関係が築くことができると長く続く
- 何かを始めようと思ったときに、金銭的なこと、場所のことなどで次につながらないことがある。ここに支援が必要なのではないか
- 雑談ができたり、楽しい余韻があったりすると、次につながりやすい
- 本来の目的とは別のところに副次的な学びがあることがある

議題2 「まちの学びの場を考えるワークショップ」開催報告①

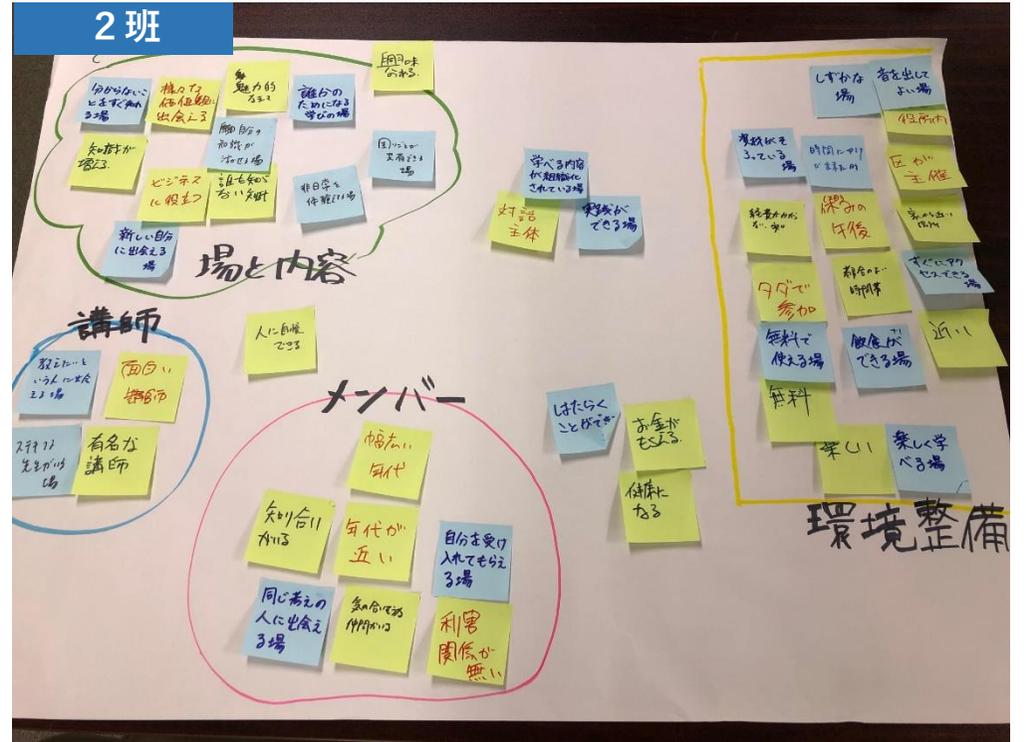
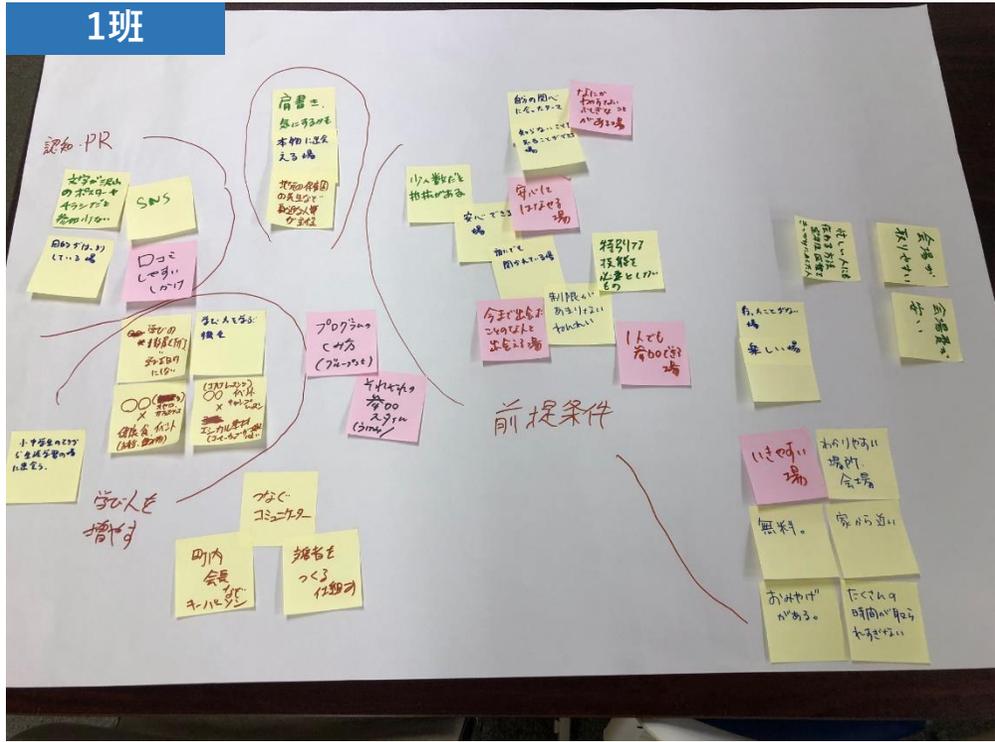
1 開催概要

- 日時 令和5年11月27日（月）18：30～20：30
- 会場 大田区役所本庁舎
- 参加者 18名（20代～70代の区民）
- プログラム
 - 第1部 倉持副会長 講演「学びとまちづくり」
 - 第2部 グループワーク

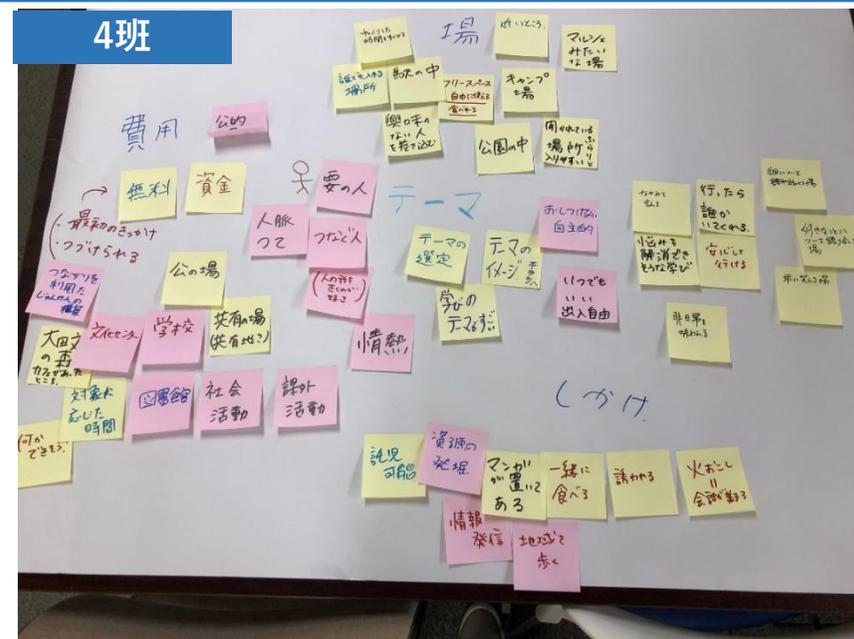
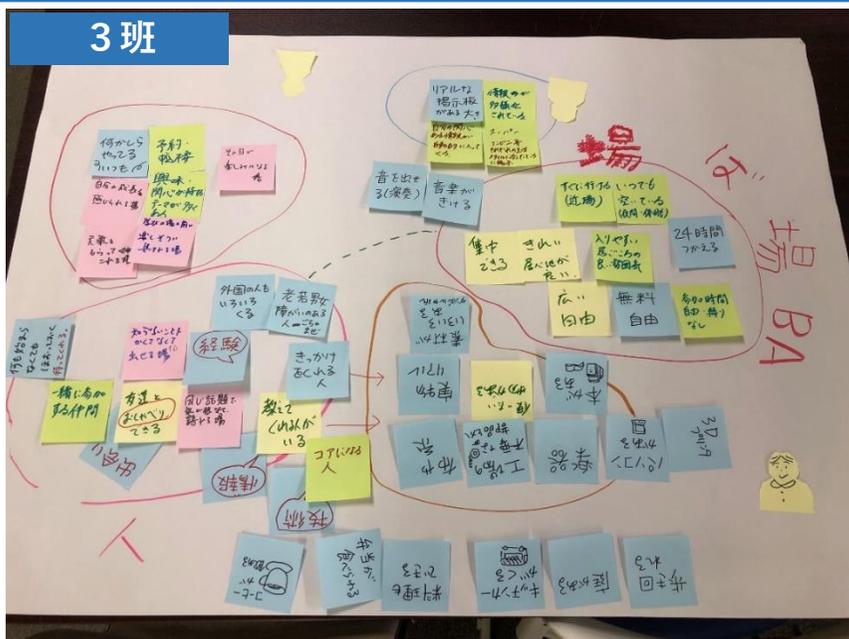
2 グループワーク結果①

参加者は、4つの班に分かれて以下のテーマについて意見交換を行った。出し合った意見を分類したものに基づき各班から発表を行った。

- テーマ1「学び始めたくなる場」
- テーマ2「学びとつながりの循環が生まれる場」



2 グループワーク結果②



各班からあがった主なご意見

イメージ

- 非日常を味わえる
- 安心して話せる場
- 困りごとが共有できる
- 誰かのためになる学びの場
- 様々な価値観に出会える
- 自分の成長を感じられる場
- 楽しく学べる場
- 健康になる

機能

- つなぐ人・コアになる人・要の人
- 行ったら誰かいてくれる
- きっかけをくれる人
- 教えたいという人に出会える場
- 自分の関心にあったテーマ
- 悩みを解消できそうな学び
- 学びの敷居を下げる
- 自分に関心ある情報が自動的に入ってくる

雰囲気・空間・立地条件

- 行きやすい
- 家から近い
- ふらりと入りやすい場所
- 居心地がよい
- いつも何かしらやっている
- 出入り自由
- 参加時間自由
- 無料
- 飲食ができる

役割

区民のニーズ

学びのきっかけ

- 口コミしやすいしかけ
- 誰かが連れて行ってくれる
- 興味のない人を巻き込む
- いつも何かしらやっている
- 行ったら誰かがいてくれる
- 学びたい講座がある
- お試し体験ができる
- 仕事につながる
- 健康になる
- 人に自慢できる

新たな出会い
(個人の学び・成長)

- 非日常を体験できる
- 普段接することがない話題や活動に出会える
- 様々な価値観に出会える
- 自分の知識が活かせる
- 新しい自分でいられる
- カラを破ることができる
- 普段の役割から外れることができる

つながり・仲間づくり

- 同じような目的を持っている人がいる
- 接点がなかった人と出会える
- 仲間づくりができる
- 1人でも参加できる
- 受け入れてもらえる
- フラットな関係
- 利害関係がない
- 幅広い年代



区民のニーズに応じた学びの場を整備することで、行政課題の解決にも寄与することが期待できる。

行政課題

地域づくり

孤独・孤立対策

誰もが自分らしく心身共に健康に暮らし
新しい世界とつながることができるまち

機能

情報

- 情報がシャワーのように降ってくる
- 関心がある情報が自動的に入ってくる
- リアルな掲示板がある
- 色々なチラシ・資料がある
- 本が近くにある

講座・講師

- 学びたい講座がある
- 自分の関心に合ったテーマ
- 身近なテーマ（ライフステージ・年齢）
- 入門講座がある
- 学びの敷居を下げる
- 素敵な先生がいる
- 教えたいという人に出会える

相談・ コーディネート

- きっかけをくれる
- 安心して相談できる
- 話しやすい
- 聞きやすい
- 何でも聞いてくれる人がいる

要の人・つなぐ人・コアになる人の育成

活動の場

雰囲気・空間・立地条件

楽しい・無駄がある

- 雑談ができる
- 飲食ができる
- 子どもも来られる
- 他の人の様子が見られる
- 音楽がかかっている
- 音を出せる
- 余韻がある
- 学びが楽しいものと気づける

安心感

- 相談に乗ってもらえる
- 困りごとを共有できる
- 安心して話せる
- 1人でも来られる
- 自分のことを認めてもらえる
- 自分のペースで話し、発信できる
- 新しく来た人を受け入れる
(オープンマインド)
- 信頼関係がある

近い・行きやすい・自由

- 無料
- 身近な場所にある
- ふらりと入りやすい
- わかりやすい
- 居心地が良い
- 朝早く、夜遅くに立ち寄れる
- 休日などに過ごせる
- 予約・申込不要
- それぞれの参加スタイル
- 出入り自由
- 押し付けない・自主的

実施状況		生涯学習センター (生涯学習センター蒲田)	文化センター	図書館
役割	学びのきっかけ	○	○	○
	新たな出会い	△	△	○
	つながり・仲間づくり	△	○	△
機能	情報提供	○	○	○
	講座・講師	×	△	△
	相談・コーディネート	△	△	△
	要の人の育成	×	×	△
	活動の場	△	○	△
空間・雰囲気・ 立地条件	楽しい・無駄がある	×	△	△
	安心感	×	△	△
	近い・行きやすい・自由	○	○	○

○常時有 △常時ではない・完全ではないが有 ×なし

現状（各施設での実施状況）

- 全ての施設で現状満たしている要素は、【学びのきっかけ】 【情報】 【近い・行きやすい・自由】のみ
- 【相談・コーディネート】機能は、全ての施設で時々実施されているものの、それらを持続するための【要の人の育成】が行われていない。
- 現状の生涯学習センターでは、【学びのきっかけ】 【情報】以外の要素をほとんど満たすことができていない。



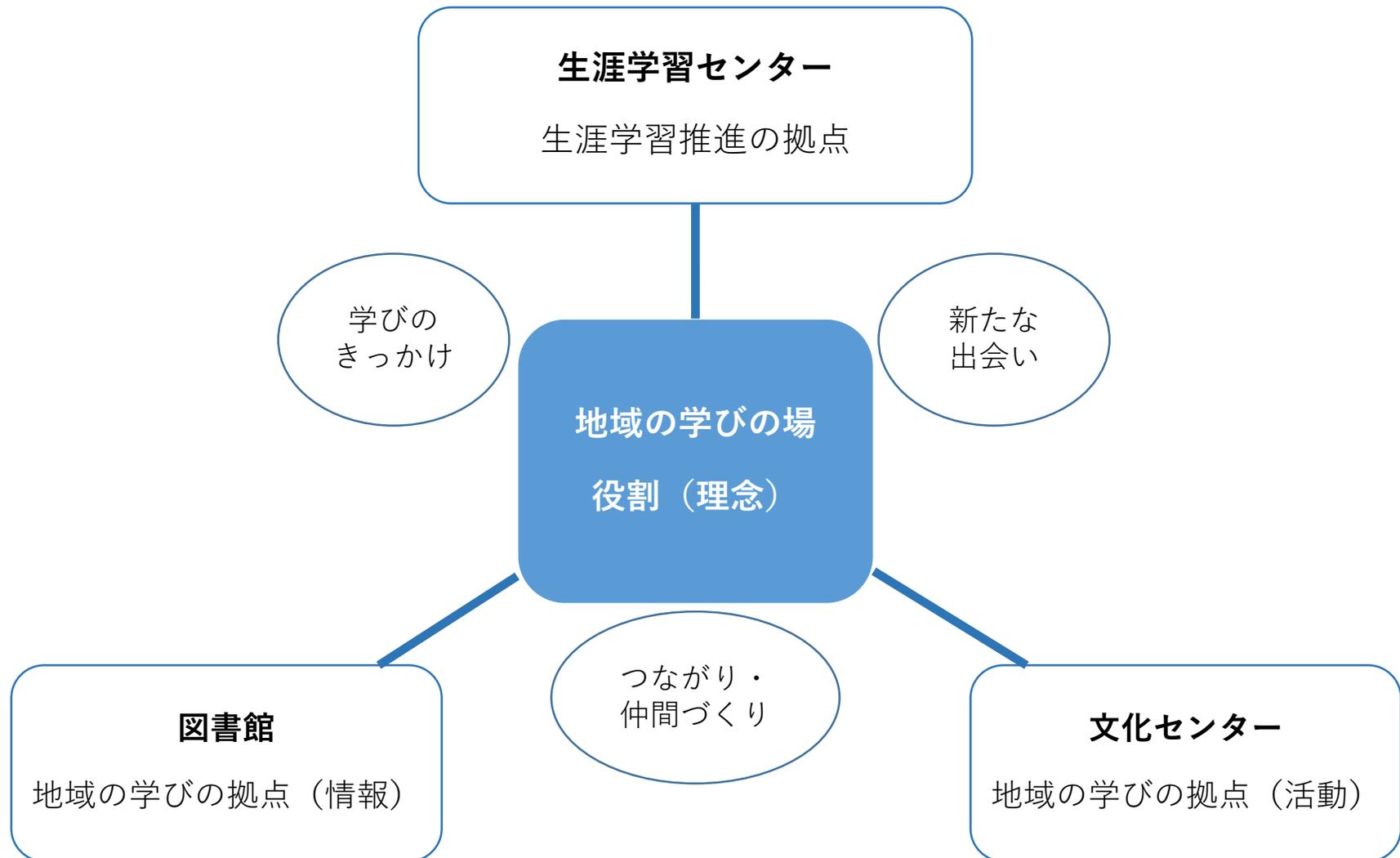
あるべき姿

- 地域の学びの場の役割【学びのきっかけ】 【新たな出会い】 【つながり・仲間づくり】を全ての施設において担っている。
- 各施設で重点的に取り組む機能を分担している。
- それぞれの施設の特徴が区民にわかりやすく示され、区民は自分が興味に応じて、学びの場を選択できる。
- 新たに検討する生涯学習センターは、全ての要素を常時満たしている。

課題・取り組むべきこと

- 各施設で重点的に担う機能を整理する
- モデルケースとする文化センターと図書館を地域の学びの拠点と位置付け、それぞれで担う重点機能を整理する
- 生涯学習センターを、区の生涯学習推進の拠点と位置づけ、全ての機能を担うほか地域の学びの拠点（文化センター・図書館）の連携強化、情報の集約・提供等の機能を担う。

▣地域の学びの場として役割（理念）は共有し、重点的に取り組む機能を分担する。



議題4 モデルケースとする各施設及び新たな生涯学習センターにおいて重点的に担う機能②

機能	(新) 生涯学習センター	文化センター	図書館
情報提供	●	●	●
講座	●	○	○
相談	●	●	○
コーディネート	●	●	○
要の人の育成	●	●	○
活動の場	●	●	○

●重点機能
○常時ではない
が担う機能

➤ 生涯学習推進の拠点

- 上記の機能の他、区内全域の学びに関する情報の集約、人材育成等**センター機能**を担う。

➤ 地域の学びの拠点（活動）

- 区民に最も身近な活動の場として、コーディネート、要の人の育成、活動の場の提供を重点機能とする。
- 学びの裾野を広げるため地域の実情に合わせた講座を定期的実施する。

➤ 地域の学びの拠点（情報）

- 最も多くの多様な年代の区民に利用される社会教育施設として、学びに係る情報提供を重点機能とする。
- 学びの裾野を広げるための講座や相談会を定期的開催する。

田園調布せせらぎ館

令和3年1月「地域文化活動の拠点」として開館した施設。世界的に有名な建築家である隈研吾氏が設計を担当。以下の機能の提供を目的としている。

- 学習・趣味・イベントなど、多様なニーズに対応できる集会・体験学習施設
- 豊かな緑の中で、自然の景観を楽しみながら、ゆっくりとくつろぎ、休憩・読書・飲食などを通じて交流できる公園内の休憩施設

館内には、サークル活動、講演会、ダンス、ピアノ演奏等に利用できる多目的室、集会室のほか、「せせらぎ文庫」という閲覧用図書を読みながらくつろぐことができる休憩スペース、日本家屋の特徴である「はなれ」をイメージした、カフェも併設されている。また、大田区立図書館資料の予約・受取・返却、レファレンス、利用者登録が可能な図書サービスコーナーもある。



せせらぎ文庫

図書サービスコーナー（上）
カフェ（下）



休憩スペース

図書館サービス	詳細
貸出サービス	個人への貸出し
	予約・リクエストサービス
	団体貸出し
情報サービス	レファレンス（参考調査）
	商用データベースの利用
	インターネット検索システム
	視聴覚資料の館内鑑賞サービス
	公衆無線LAN接続サービス
	複写サービス
地域の課題に対応したサービス	<p>特定の分野の蔵書の紹介やその分野の集会行事を行う 入新井：ビジネス 蒲田駅前：医療・介護情報 下丸子：子ども・子育て</p>
利用者に対応したサービス	<p>児童向け、乳幼児とその保護者向けサービス（専用コーナーの設置、集会行事の開催：おはなし会、ブックトーク、映画界、人形劇公演、工作会、似顔絵展示会等）</p>
	区立小中学校との連携（授業等への協力、学校図書館支援事業）
	障がい者・高齢者向けサービス
	外国人向けサービス
多様な学習機会の提供	集会行事等の開催（講演会、スタンプラリー、生涯学習講座、朗読会、映画会等）
	集会室・多目的室の貸出
ボランティア活動等の促進	読み聞かせボランティア講座
	音訳者現任講座・養成講座

(資料1) 文化センター

- 文化センターは、区民に**研修、集会及び自主的な社会教育活動の場を提供**することにより、区民の**文化活動及び地域活動の促進**を図り、文化の向上及び地域の振興に寄与するために設置された施設【大田区立文化センター条例第2条（設置）】
- 所管は地域力推進部（特別出張所）、直営（業務委託含む）
- 施設利用申請のおよそ**7割が社会教育関係団体から**であり、主にサークル活動の場として活用されている
- 文化センターが主催する事業は年1回の「文化センターまつり」だが、新型コロナウイルス感染症のため令和2年、3年は中止となっている（令和4年は1か所のみ「文化センターまつり」を開催した）

	設置年	延床面積 (㎡)	主な諸室等	利用団体連絡 協議会有無
美原文化センター	S51	1,037	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	○
馬込文化センター	S54	1,208	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	×
南馬込文化センター	S60	1,095	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	×
池上文化センター	S57	1,205	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	×
嶺町文化センター	S62	1,295	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	○
雪谷文化センター	H4	1,352	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、陶芸室、体育室	○
石川町文化センター	S62	903	第一集会室、第二集会室、和室、レクリエーションホール	○
糺谷文化センター	S55	1,224	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、陶芸室A、陶芸室B、体育室	○
羽田文化センター	H30	1,278	第一集会室、第二集会室、第三集会室、第四集会室、体育室	○
萩中文化センター	S61	1,200	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	○
六郷文化センター	S48	1,102	第一集会室、第二集会室、和室、調理室、体育室	○

(資料2) 図書館

- 区内には16の図書館がある
- 所管は教育委員会
- 資料貸し出し（予約・リクエスト含む）、参考調査（レファレンス）のほか、児童サービス（学校貸出、総合学習への協力、子ども向け行事）、障がい者サービス（宅配、郵送、対面朗読、録音図書 of 作製・貸出、大型活字本の貸出）、団体貸出、ボランティア養成（読み聞かせボランティア講座、音訳者現任講座）、電子書籍貸出サービス、学校図書館支援事業等を行っている

	開館年	延床面積 m ²
大田図書館	S45	2,151
大森南図書館	S51	1,199
大森東図書館	S57	1,250
大森西図書館	S61	1,201
入新井図書館	S49 (H23移転)	1,015
馬込図書館	S46	1,608
池上図書館	S31 (R3移転)	1,026
久が原図書館	S59	1,200
洗足池図書館	S35 (H8改築)	1,254
浜竹図書館	S46 (H15移転)	984

	開館年	延床面積 m ²
羽田図書館	H6	1,300
六郷図書館	S47 (H30改築)	1,418
下丸子図書館	S50	1,764
多摩川図書館	S58	1,211
蒲田図書館	S35 (H3移転)	1,259
蒲田駅前図書館	S56	1,710

(資料3) 生涯学習センター蒲田

- 平成30年7月に消費者生活センター2階に設置された約30㎡のスペース
- 所管は、地域力推進部（地域力推進課）
- 学びに関する情報提供（講座・イベント等のチラシ配架）、フリースペースの提供（生涯学習相談会、団体の打ち合せ等に利用）を主に行っている
- 職員が常駐していないため、利用者からの問い合わせや相談に随時対応することはできない
- おおた生涯学習推進プラン策定時に実施したパブリックコメントでは、生涯学習センター蒲田の機能、スペースは十分でないという意見が複数寄せられた

